

○百里基地・茨城空港対策特別委員会

1. 委員構成(10名)

【～令和元年11月30日】

委員長 荒川一秀 副委員長 植木弘子
委員 笹目雄一、関口輝門、大槻良明、藤井敏生
長島幸男、石井 旭、鈴木俊一、村田春樹

2. 設置の目的

小美玉市に百里基地が存在することにより、

- (1) 周辺住民の生活や事業活動にさまざまな不利益や障害等を受けている
- (2) 不測の事態も想定され、対応策の揭示及び具体化を図らなければならない
- (3) 昨今の景気の低迷等の影響により、基地周辺住民への安定的な諸施策の継続の困難が予測される
- (4) 基地に併設された茨城空港の利用促進を図ることが市の大きな発展に繋がるこれらについての施策や措置等については、未だ十分といえる状況ではなく、関係機関への要請、折衝などを行い、防衛省に係る補助事業及び交付金等の有効活用を図り、今後の安全、安心なまちづくりのため少しでも有利な情報の収集や要望活動に努めることは必須であり、市ともども議会としても積極的にこれらの諸活動を展開するために当委員会を設置している。

3. 委員会の活動内容

○令和元年7月8日

百里基地への申し入れを実施。

○令和元年7月17日～18日 視察研修

「航空自衛隊三沢基地」の飛行運用に関する事及び地域住民との関わり方や独自の取り組みについて、「三沢市」の基地対策(住民対策)の取り組みや基地対策関係補助事業などの研修を行った。

○令和元年7月30日

防衛省北関東防衛局へ陳情活動を実施。

○令和元年9月5日(令和元年第3回定例会)

委員会を開催し、基地対策に係る要望活動及び防衛省北関東防衛局陳情の回答、航空自衛隊百里基地に関する令和2年度概算要求の主要事業、百里基地の部隊の移動に関する内容、茨城空港の利用状況等や視察研修報告の内容の確認協議を行った。

4. 陳情・申し入れの回答

【令和元年度】百里基地への申し入れ。

	申し入れ事項	百里基地の回答
1	基地周辺の騒音の実態を真摯に受け止め、改善に向けて尽力すること	申し入れ内容を真摯に受け止め、努力していく。夜間のエンジンテストについて、急を要する場合を除き、深夜早朝の実施を控えるよう努めている。また、模擬空対地射爆撃訓練については、1回の訓練時間を可能な限り短縮する等、騒音軽減に努めている。
2	昼12時から13時の時間帯での飛行自粛が一過性のものではなく、さらなる改善に向けた検討を継続すること	8月の1ヶ月間において昼12時から13時の時間帯での離陸制限等を実施していく。
3	度々発生している戦闘機訓練中の部品落下事案については、安全飛行の確保、点検整備の強化等を行うこと。	入念かつ確実な点検等を継続するとともに、安全飛行には万全を期するよう努めていく。
4	航空祭に向けた飛行訓練について、飛行ルートや訓練時間に十分配慮すること。	航空祭に向けた飛行訓練については、これまでどおり速やかな情報提供に努めるとともに、飛行ルートや訓練時間の配慮に努めていく。
5	航空祭開催に向け、昨年はパークアンドバスライドを実施し交通渋滞が緩和されたが、引き続き地域住民の理解を得ながら、更なる万全の対策を講じること。	昨年度の反省を踏まえた改善を検討するとともに、今年度も引き続きパークアンドバスライドを計画し、基地周辺の渋滞緩和に努めていく。

【令和元年度】防衛省北関東防衛局へ11項目の陳情活動を実施。

	陳情事項	防衛省の回答
1	百里飛行場の民間共用化に伴う地域振興策等について	具体的な要望を伺いながら制度と照らし合わせ対応可能なことについて追求していく。また、不測の事態などにおいて、西側区域に影響がでた場合は騒音状況を把握していく。
2	基地周辺障害防止対策について	テレビ受信料の廃止は制度見直しに伴い、引き続き地域住民の方へは丁寧な説明をしていく。また、電話受信料に関する措置については、難しい旨のご理解を頂きたい。
3	防音事業関連維持事業について 【追加】	本省に伝えていく。
4	住宅防音工事の助成について	住宅防音工事の工事期間については期間短縮、早期に対応していく。工事内容の改善については、技術的検討をおこなう。空調機器、防音建具の機能復旧工事は早期に努めてまいりたい。太陽光発電システムについては、制度上難しい旨ご理解いただきたい。騒音測定機の増設については、百里基地の配備機種の変更により影響ができれば対応していく。防音工事対象区域の拡大については、今後の課題として検討していく。
5	移転の補償等について	実態を勘案していくが、難しい旨ご理解いただきたい。
6	障害防止対策事業及び民生安定施設整備事業について	概算要求として本省に要望し、予算確保に努めていく。
7	特定防衛施設周辺整備調整交付金について	交付額の算定に時間がかかっている旨をご理解いただき、引き続き努力していく。
8	農耕阻害損失補償について	本省と調整を図りながら努力していく。
9	再編関連訓練移転等交付金について	予算確保の努力と交付金内示においても、早期に示せるよう努力していく。
10	関連機関への申し入れについて	基地運用等に対して、速やかな情報提供や対応、航空際の交通渋滞緩和に向け万全を期し、基地に申し伝える。防衛省管理地の除草作業は定期的管理に努めていく。基地要望に関しては幕僚幹部に伝え、要望に沿えるよう適切に努めていく。
11	訓練移転に係る安全対策等について	日米共同訓練実施の際は現地対策本部を設置し、地域住民の安心、安全を確保する。また、訓練移転等の情報開示は速やかに実施し、オスプレイの訓練参加は計画承知していない。